

オープンソースによるシステム開発

～ *Ruby*言語による図書館システム開発～

平成22年8月

一般財団法人 塩尻市振興公社

塩尻市の位置





アルプスが見えるまち しおじり

なぜ、図書館システムのオープンソースか

(現在のパッケージソフトの問題点)

- ・ ブラックボックスなために、修正に時間と金がかかる。
- ・ 日々良いものに修正したいのにできない。
- ・ 金太郎飴の世界でも、地域でカスタマイズが必要なときがある。
- ・ 社会が変化しているのにブラックボックスでは変化についていけない。
- ・ システム開発経費の性質を投資的な経費にしたい。
- ・ IT経費に充てる財源が年々なくなってきている。

なぜ、図書館システムのオープンソースか

(問題の解決)

- ・ 技術力があれば自分で修正できる(無ければ地元のIT事業者に頼む)ので、修正費用が安く済む。
- ・ これからの図書館の仕事は、図書の貸し借りだけでなく、地元が存在している史料を保存し、地域に公開していくことで、地域の文化醸成を手助けすることが大きな仕事。
- ・ 図書館が地域へインターフェースを開放して情報拠点となるが必要になってきた。
- ・ クラウドへの導入が速やかに行える。(より安いシステムの利用)
- ・ 他の地域との共同利用が流暢にできる。(本質は、システムの利用ではなく、データの利用ということ)

既存システムの場合

プログラム変更に係るシステム変更は開発元にしかできません。

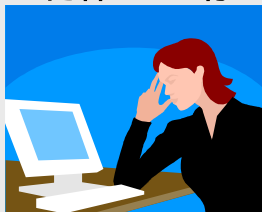


開発元メーカー

変更費用が高くて
も随契で契約。

変更希望機能の
見積依頼

変更したい内容が全て行なえない。



プログラムソースの
変更を市の判断で
行なう権利がない

オープンソースシステムの場合

地元企業等



まちづくり三鷹・塩尻
市振興公社

連携

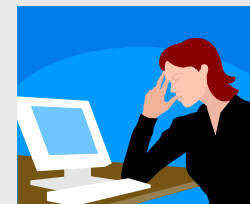


要求等

フォローアップ

入札が可能

変更希望機能の
仕様を提示



プログラムソースの
変更を地元企業の
判断で行える

予算の範囲内で最大限、機能拡充のためのシステム変更をしたい

大幅なコストダウンを実現!!
地元企業採用による地域への還元!!

Ruby図書館情報システムの特徴

Public Library Innovation...

...図書館に新しい風が吹く

～地域でつくり、地域で育てる「コミュニティ・ライブラリー・システム」～



特徴①

従来の図書館システムよりも大幅なコストダウンを実現します。

特徴②

時代の変化やユーザーのニーズに即して、常に進化していくことのできる、未来指向のシステムです。

特徴③

図書館が地域の情報拠点となるよう、蔵書管理だけでなく、電子情報も簡単に管理できます。

特徴④

Webシステムの利点を活かして、複数の施設のシステムを一箇所のサーバーで統合管理することができます。

セキュリティと個人情報保護に万全を期しながら、複数の自治体の公共図書館や学校図書館、地域の専門図書館などをインターネット上で結びつけ、共同利用をすることができます。

特徴⑤

開発から保守まで、開かれたプラットフォームの上で安定したシステム運営を保つと同時に、地元企業がこれらの業務に参加することができます。

オープンソースでのシステム開発に 取り組んだ目的と効果

オープンソース言語による開かれたシステムの提供

自治体ITコストを大幅削減（半減化を実現）

雇用を創り出すことで地域活性化に貢
献

まちを活性化したい真の願い

教育は、地域の税金で賄い、首都圏の大学へ。故郷の仕送りで生活。

若者を故郷に帰したい

一人前になって首都圏に税金を納める。

地域で働ける環境を準備したい

定年になって故郷に帰り、老後に進む。地域の医療・福祉は火の車。

そして……

本当は、地域に働く場所があればわざわざ都会に行きたくないのが本音。

地域の未来を切り開いてほしい。